



城作りで半世紀、

長谷川進さん

「これこそ生きがい。」

お城作りでいい人生です」

城模型創作家である長谷川進さん（65

歳・南千住7丁目在住）の取材をさせて
いただいてから2年半になります。自宅
に伺った時に所狭しと置かれていたお城

が、注目を浴びています。昨年完成した
江戸城は、東京新聞の記事がきっかけで
神田明神に奉納されました。

「天守閣は上から作ります」
城は、石垣から作られています。長

谷川さんの作成される城は、最上階から
作業を始められます。しゃちほこは、細
かく切った紙を40枚うることして張り合
わせて作られています。

「二つ作るごとに技術があがって
います」
金のしゃちほこに使用する金色の紙は

接着剤によっては仕上がりが銀色になっ
てしまい、木工ボンドが色が変わらないと
気付きました。失敗を重ね、思考錯誤し
ながら、一つの作品が仕上がるたびに城
作りに工夫をされています。

3ヶ月かけて作成

された白石城（宮城）

は、屋根に少し反り
があり、より温かみ
のある城に仕上がっ
ています。作る工程

が分かるように、白
石城はあえて色を塗
らずに作成しました。

「自分の目で見
て」
殿様が城に入る入
り口の階段も細かく

丁寧に作られています。
長谷川さんは、
この入口の観察のた
めに5回、白石城に足を運ばれました。

石垣は城の3分の2を占めます。白石城
の自然石を積む「野
面積み」でできてお
り、それをヒノキの
木材で一つ一つ角を
削って張り合わせて
作られています。厚
紙で作られた小峰城
（福島）の石垣も同
様に四隅を切って作られ味わい深いできあ

がりになっています。震災により小峰城は、
石垣の一部が崩れてしまい、現在は立ち入
り禁止になっています。

「城作りのおかげでいろいろな人と
知り合いになれました」
NPO法人江戸城再建を目指す会の正会員に
もなっています。

今は松尾芭蕉が亡くなった大垣の城を
作成されています。今までは、完成して
から色付けをしていましたが、大垣城は
細かな部品ひとつひとつに色付けをして
から作られています。

「多くの方に見てもらいたい」
5月中頃まで、城北信用金庫南千住営
業部（南千住5丁目・平日午前9時〜午
後3時）で白石城（宮城）・小峰城（福
島）・彦根城（滋賀）・犬山城（愛知）・
松本城（長野）の5つの城が展示されてい
ます。

「お城は下から見上げるもの」
お話を伺っている間にも、熱心にお城を
見ておられる方たちがいらつしやいました。
長谷川さんの写した写真と比べてみてい
ただければ、その精巧さがわかります。手
抜きしない作業で作られた城たちです。細
部までご覧になってください。

